



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR・経理管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,201	9.6	181	△22.9	251	—	264	—
29年3月期第1四半期	2,922	△15.1	235	56.1	△86	—	△111	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 294百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △635百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.39	5.38
29年3月期第1四半期	△2.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	25,189	20,834	81.0
29年3月期	24,901	20,774	81.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 20,409百万円 29年3月期 20,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	4.00	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となり、1株当たり年間配当金は8円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	7.3	250	△36.3	350	—	250	—	5.10
通期	13,500	4.6	600	△24.0	800	1.2	600	△15.5	61.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しておりません。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 富貴(無錫)電子有限公司

- (注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	50,709,167株	29年3月期	50,709,167株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,672,134株	29年3月期	1,671,091株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	49,037,733株	29年3月期1Q	48,983,335株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第95回定時株主総会において株式併合に関する決議事項が承認可決されたことから、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 4円00銭 期末 4円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 第2四半期(累計) 5円10銭 通期 12円24銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
製品別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国で景気の回復が続き、欧州でも緩やかな景気回復が見られ、中国でも、不動産投資やインフラ・設備投資を主導に安定的な成長を続けており、世界的な景気回復の流れがある一方、北朝鮮・中東情勢といった地政学リスクや、欧米諸国をはじめ、諸外国の今後の政策動向が見極めづらい状況にあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、スマートフォンは市場がやや鈍化したものの、自動車関連はEV（電気自動車）や自動運転支援機能などの急速な発展が進んでおり、市場もグローバルで堅調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、提案型営業の強化を図り、新たな市場参入に注力しつつ、生産性向上とコストダウンを継続して進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は32億1百万円（前年同期比9.6%増）となりました。営業利益は退職給付費用の増加などにより1億81百万円（前年同期比22.9%減）、経常利益は2億51百万円（前年同期は86百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円（前年同期は1億11百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

前面操作ブロック（ICB）製品や可変抵抗器はほぼ横ばいでしたが、固定抵抗器はエアコン、給湯器向けが好調でした。また、ゲーム機用スイッチシートも好調でした。

この結果、電子部品の売上高は31億71百万円（前年同期比11.1%増）となり、営業利益は1億83百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

全体的にはほぼ横ばいでしたが、その中でもゲーム機向け、ヘルスケア向けは好調でした。

この結果、売上高は14億39百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は1億34百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

b. アジア

デジカメ向け等の前面操作ブロックはやや減少いたしました。エアコン、給湯器向け固定抵抗器や、ミュージックやプロ用オーディオ向け可変抵抗器が好調でした。

この結果、売上高は16億42百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は80百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

c. 北米

テレビやオーディオ向けなど、全体的に低調でした。

この結果、売上高は89百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は2百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

②その他

機械設備の製造販売は、既存顧客のリピートと新たな受注確保に努めましたが、結果が伴わず、その他の売上高は30百万円（前年同期比54.6%減）、営業損失は5百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ2億87百万円増加し251億89百万円となりました。その内訳は、流動資産が1億88百万円増加し162億7百万円、固定資産が98百万円増加し89億81百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ2億27百万円増加し43億54百万円となりました。その内訳は、流動負債が1億50百万円増加し27億80百万円、固定負債が76百万円増加し15億74百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ59百万円増加し208億34百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の81.6%から81.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き先行きが不透明な経済状況が予想されますが、平成30年3月期の業績予想に関しては、平成29年5月15日に公表いたしました見通しに変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,661,124	9,849,746
受取手形及び売掛金	3,073,136	2,738,251
電子記録債権	629,607	596,719
商品及び製品	1,139,501	1,202,848
仕掛品	491,856	520,258
原材料及び貯蔵品	549,647	591,051
その他	480,258	714,620
貸倒引当金	△6,702	△6,101
流動資産合計	16,018,431	16,207,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,769,207	1,674,228
機械装置及び運搬具（純額）	1,152,626	1,181,626
その他（純額）	819,244	838,733
有形固定資産合計	3,741,078	3,694,588
無形固定資産	164,852	137,508
投資その他の資産		
投資有価証券	1,949,741	2,123,649
その他	3,032,622	3,030,878
貸倒引当金	△4,890	△4,860
投資その他の資産合計	4,977,473	5,149,667
固定資産合計	8,883,403	8,981,764
資産合計	24,901,835	25,189,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,287	844,387
電子記録債務	449,870	519,040
短期借入金	167,710	166,112
未払法人税等	60,259	51,307
賞与引当金	308,718	180,426
役員賞与引当金	10,000	—
その他	755,800	1,019,121
流動負債合計	2,629,647	2,780,395
固定負債		
退職給付に係る負債	228,004	233,484
その他	1,269,732	1,340,842
固定負債合計	1,497,737	1,574,326
負債合計	4,127,384	4,354,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,591,062	11,659,150
自己株式	△822,997	△823,210
株主資本合計	19,677,457	19,745,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658,032	780,321
為替換算調整勘定	△590,268	△700,856
退職給付に係る調整累計額	576,549	584,896
その他の包括利益累計額合計	644,314	664,361
新株予約権	6,336	8,448
非支配株主持分	446,343	416,296
純資産合計	20,774,451	20,834,437
負債純資産合計	24,901,835	25,189,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,922,862	3,201,999
売上原価	1,931,260	2,102,202
売上総利益	991,602	1,099,796
販売費及び一般管理費	756,266	918,460
営業利益	235,335	181,336
営業外収益		
受取利息	9,624	9,355
受取配当金	24,317	41,273
受取賃貸料	22,176	23,497
その他	18,543	18,100
営業外収益合計	74,661	92,227
営業外費用		
支払利息	297	290
固定資産賃貸費用	10,286	9,884
為替差損	371,559	10,839
その他	14,543	1,202
営業外費用合計	396,687	22,216
経常利益又は経常損失(△)	△86,690	251,347
特別利益		
関係会社株式売却益	—	58,003
特別利益合計	—	58,003
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△86,690	309,350
法人税等	16,258	33,754
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,948	275,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,745	11,356
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,694	264,240

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,948	275,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,085	122,056
為替換算調整勘定	△300,269	△111,770
退職給付に係る調整額	△127,488	8,193
その他の包括利益合計	△532,843	18,478
四半期包括利益	△635,792	294,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△608,678	284,287
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,113	9,787

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、富貴(無錫)電子有限公司は持分譲渡に伴い連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,855,695	67,166	2,922,862	—	2,922,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,535	48,352	49,887	△49,887	—
計	2,857,231	115,518	2,972,750	△49,887	2,922,862
セグメント利益又は損失(△)	242,578	△12,479	230,098	5,236	235,335

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,255,357	1,494,620	105,717	2,855,695	—	2,855,695
地域間の内部売上高 又は振替高	1,273,835	1,132,371	—	2,406,206	△2,404,670	1,535
計	2,529,192	2,626,991	105,717	5,261,901	△2,404,670	2,857,231
地域別利益又は損失(△)	192,042	77,228	△2,817	266,452	△23,874	242,578

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,171,537	30,461	3,201,999	—	3,201,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,325	123,404	125,729	△125,729	—
計	3,173,862	153,865	3,327,728	△125,729	3,201,999
セグメント利益又は損失(△)	183,171	△5,144	178,027	3,309	181,336

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,439,982	1,642,130	89,424	3,171,537	—	3,171,537
地域間の内部売上高 又は振替高	1,564,529	1,253,302	—	2,817,831	△2,815,506	2,325
計	3,004,511	2,895,433	89,424	5,989,369	△2,815,506	3,173,862
地域別利益	134,952	80,490	2,982	218,424	△35,252	183,171

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%	%	%	
前面操作ブロック(千円)	1,142,773	39.1	1,120,402	35.0	98.0
可変抵抗器(千円)	579,355	19.8	617,865	19.3	106.6
固定抵抗器(千円)	444,326	15.2	557,262	17.4	125.4
その他(千円)	689,239	23.6	876,007	27.3	127.1
小計(千円)	2,855,695	97.7	3,171,537	99.0	111.1
その他					
その他(千円)	67,166	2.3	30,461	1.0	45.4
小計(千円)	67,166	2.3	30,461	1.0	45.4
合計(千円)	2,922,862	100.0	3,201,999	100.0	109.6